

- 1 趣 旨 専門家（絵本専門士）による読み聞かせを導入に、絵本の世界観に思いを馳せ、豊かな感情の醸成を図る。また、手遊び歌や仕掛けカード作成体験を通して、子どもの積極性や自発性を高めるとともに、親子の絆を深め、読書活動を活用した子育ての効果を実感できるようにする。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
- 3 協 力 福岡県教育庁 北筑後教育事務所
- 4 期 日 令和5年 1月21日（土）
- 5 参加者 31名（10家族）
- 6 講 師 絵本専門士 吉柳 佳代子 氏
- 7 活動様子 別紙参照

8 感 想

- ・素敵な絵本を紹介して頂いて、大人も幸せな気持ちになりました。息子も仕掛け絵本に喜んでいました。
- ・先生の声のトーンであたたかい気持ちになりました。絵本の読み聞かせを今後も続けようと思いました。
- ・家庭ではなかなかこのような準備、時間が持てないので、是非また参加させていただきたいです。
- ・親子で一緒に作業に取り組めるのは楽しい。絵本の世界すてきてした。手紙、カード作り誰かにプレゼントしたい。
- ・ゆとりあるプログラムでゆったり楽しめました。
- ・明るく声をかけて頂き、リラックスして楽しめました。イヤイヤ期の息子にご迷惑おかけしました。
- ・幅広い年齢のお子さんが参加されていて、親子ともよい刺激になりました。
- ・子どもを誘導するのではなく、子ども自身のひらめきや発想を大切にしたいと思う。
- ・大人でも気づきのある良いイベントでした。遠方からだったので、もう少し長い時間であつたらよかった。

9 成 果

本事業を通して、感想にもあるように参加者は絵本の読み聞かせの重要性を再認識することができた。また、絵本専門士による絵本の読み聞かせを通して、子どもたちは絵本への興味を深め、絵本の世界や、登場人物の気持ちに思いを馳せることができたと考える。

さらに、創作活動では、読み聞かせを導入としたことで、親子ともに真剣に話を聴きいる姿が見られ、「仕掛けカード」作りに一生懸命取り組む姿が見られた。動きのある飛び出す仕掛けなどに興味・関心を示し、親子で協力しながら作ることができ、誰かにプレゼントしてみたいという声を聞くこともできた。

最後は作品を見せ合う場を設定し、お互いの良さを感じていた。難しい創作にも粘り強く取り組み、素晴らしい作品を仕上げたことで、子どもたち一人ひとりの豊かな感情の醸成につなげることができた。

10 課 題

仕掛け絵本作りを当初計画していたが、半日開催のため仕掛けカード作りに予定を変更して行った。仕掛け絵本作りを行うためには、起承転結を考える時間の確保や対象年齢など、様々な配慮が必要である。今回は北筑後教育事務所との協力で開催することができたが、参加者の居住地を確認すると、遠方の方が多く占めていた。今後は、様々な地域に出向いて、複数開催などを視野に入れ、展開していきたい。

7-1 読み聞かせ活動及び仕掛けカード作成の説明



7-2 仕掛けカード作り



7-3 作品発表会

